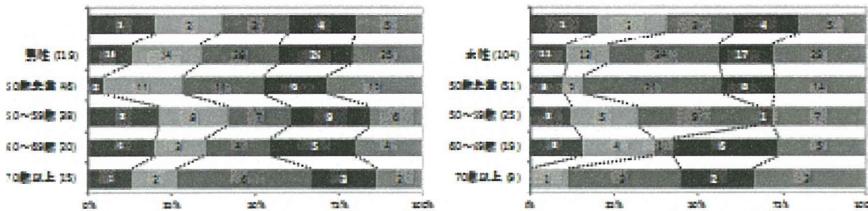


図表6(2)a-5 IFN 拒否理由(C-1-1)×年齢・性別(H-1,H-2)

C-1-1 はいの場合、インターフェロン治療を受けなかった理由を一つ選んでください。(單一回答)

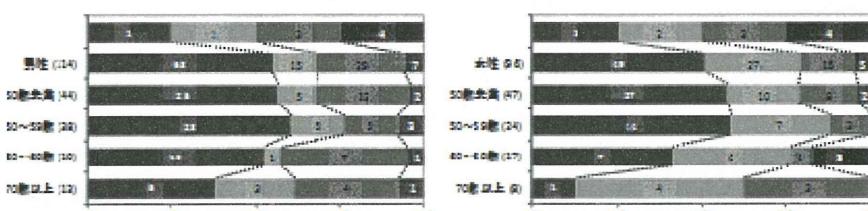
	1 副作用が怖い	2 効果の時間のかな い		3 副作用が怖い		4 効果が不明		5 その他		6 カッコ内に有効回答数を分母とする割合		
		11 (%)	12 (%)	13 (%)	14 (%)	15 (%)	16 (%)	17 (%)	18 (%)	20 (%)	21 (%)	22 (%)
TOTAL	27 (24.1)	37 (32.6)	62 (54.3)	43 (38.2)	54 (48.1)	25 (22.0)	25 (21.0)	25 (21.0)	25 (21.0)	227 (20.1)	4 (3.6)	212 (19.2)
男性	18 (22.4)	24 (30.2)	28 (35.1)	28 (35.1)	25 (31.4)	11 (14.3)	9 (12.0)	13 (17.1)	12 (16.0)	122 (15.0)	2 (1.6)	112 (15.9)
50歳未満	2 (4.2)	11 (21.2)	11 (22.2)	11 (22.2)	9 (18.0)	—	—	—	—	47 (11.2)	1 (2.1)	48 (11.2)
50～59歳	8 (24.1)	8 (24.1)	7 (21.4)	7 (21.4)	9 (27.3)	—	—	—	—	29 (11.8)	1 (3.8)	30 (11.8)
60～69歳	4 (20.0)	3 (15.0)	4 (20.0)	5 (23.3)	4 (20.0)	4 (20.0)	5 (23.3)	4 (20.0)	5 (23.3)	21 (10.0)	1 (5.0)	30 (10.0)
70歳以上	2 (12.2)	2 (12.2)	6 (30.0)	3 (15.0)	3 (15.0)	2 (10.0)	2 (10.0)	2 (10.0)	2 (10.0)	15 (11.2)	0 (0.0)	15 (11.2)
女性	11 (18.6)	13 (22.9)	24 (42.3)	17 (31.4)	23 (41.5)	—	—	—	—	102 (19.6)	1 (1.9)	100 (19.6)
50歳未満	5 (5.6)	3 (3.5)	21 (21.0)	8 (8.5)	8 (8.5)	—	—	—	—	51 (11.5)	0 (0.0)	51 (11.5)
50～59歳	3 (10.0)	5 (16.7)	2 (6.7)	1 (3.3)	1 (3.3)	7 (23.3)	—	—	—	25 (8.7)	0 (0.0)	25 (8.7)
60～69歳	3 (10.0)	4 (13.3)	1 (3.3)	8 (26.7)	8 (26.7)	5 (16.7)	5 (16.7)	5 (16.7)	5 (16.7)	19 (6.6)	0 (0.0)	19 (6.6)
70歳以上	0 (0.0)	1 (3.3)	3 (10.0)	2 (6.7)	2 (6.7)	3 (10.0)	3 (10.0)	3 (10.0)	3 (10.0)	10 (3.4)	1 (3.4)	9 (3.4)

男性年齢(x<sup>2</sup>=0.7, df=12, p=0.557), 女性年齢(x<sup>2</sup>=10.5, df=12, p=0.170), 性別(x<sup>2</sup>=0.0, df=4, p=0.99)

図表6(2)a-6 IFN 励薦医師説明(C-1-2)×年齢・性別(H-1,II-2)

C-1-2 はいの場合、医師の説明は十分に受けましたか。(單一回答)

	1 十分に説明され、 説明された内容 でよく理解でき た	2 説明された内容 でよく理解でき た		3 あまり説明され なかつた		4 あまり説明され なかつた		5 その他		6 カッコ内に有効回答数を分母とする割合		
		11 (%)	12 (%)	13 (%)	14 (%)	15 (%)	16 (%)	17 (%)	18 (%)	20 (%)	21 (%)	22 (%)
TOTAL	112 (62.2)	42 (33.0)	44 (31.9)	12 (5.7)	—	—	—	—	—	227 (20.1)	17 (9.5)	210 (18.6)
男性	63 (55.2)	15 (13.2)	29 (25.4)	7 (6.1)	—	—	—	—	—	122 (15.0)	0 (0.0)	114 (14.6)
50歳未満	25 (5.6)	5 (11.4)	12 (27.2)	2 (4.3)	—	—	—	—	—	47 (11.2)	0 (0.0)	46 (11.2)
50～59歳	23 (8.2)	6 (18.8)	6 (18.8)	3 (10.6)	3 (10.6)	—	—	—	—	29 (10.5)	1 (3.8)	28 (10.5)
60～69歳	10 (33.3)	1 (3.3)	7 (23.3)	1 (3.3)	1 (3.3)	—	—	—	—	21 (7.0)	2 (6.7)	19 (6.7)
70歳以上	5 (25.0)	3 (15.0)	4 (20.0)	1 (5.0)	1 (5.0)	1 (5.0)	1 (5.0)	1 (5.0)	1 (5.0)	12 (11.2)	2 (1.8)	12 (11.2)
女性	49 (61.0)	27 (33.1)	15 (18.6)	5 (6.1)	5 (6.1)	—	—	—	—	102 (19.6)	2 (1.9)	98 (19.6)
50歳未満	27 (57.4)	10 (21.2)	8 (17.0)	2 (4.3)	2 (4.3)	—	—	—	—	51 (11.5)	4 (8.7)	47 (11.5)
50～59歳	14 (51.2)	7 (29.2)	3 (12.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	—	—	—	—	25 (9.2)	1 (3.8)	24 (9.2)
60～69歳	7 (11.2)	9 (15.2)	1 (3.3)	3 (5.0)	3 (5.0)	—	—	—	—	19 (6.7)	2 (3.3)	17 (6.7)
70歳以上	1 (12.5)	4 (50.0)	3 (37.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	—	—	—	—	10 (10.0)	2 (2.0)	8 (8.0)

男性年齢(x<sup>2</sup>=0.1, df=12, p=0.971), 女性年齢(x<sup>2</sup>=0.0, df=12, p=0.99), 性別(x<sup>2</sup>=0.0, df=4, p=0.99)

インターフェロン治療未経験者に、医師からインターフェロン治療を勧められたかについて尋ねたところ、有効回答者の 11.6% は勧められたことがあると回答している(図表6(2)a-1)。性別による有意差はないが、年齢別には、男女ともに、勧められたことがあるのは若年ほど多い傾向がみられる(図表6(2)a-4)。

医師からインターフェロン治療を勧められた方へ、インターフェロン治療を受けなかった理由を尋ねたところ、有効回答者の 27.6% が「副作用が怖い」と回答している。次いで、「効果が不明」が 19.7% となっている。また、23.7% は「その他」としている。「その他」は、インターフェロン治療を行う時期ではない為というコメントが多くかった(図表6(2)a-2)。性別・年齢による有意差はなかった(図表6(2)a-5)。

医師からインターフェロン治療を勧められた方へ、医師の説明について尋ねたところ、有効回答者の 53.5% は

「十分に説明されてよく理解できた」と回答している。次いで、「あまり説明がなかった」が20.9%となっている(図表6(2)a-3)。男女別で見ると、「説明されたが理解できなかった」は、女性の方が多かった。年齢による有意差は見られず(図表5(2)-7)。

### b. 治療希望

図表6(2)b-1 IFN希望(C-2)

C-2 インターフェロン治療を受けることを勧められた場合、ご希望になりますか。(単一回答)

調査対象数2294 (有効回答数1719,無回答575)

有効回答率74.9%

	回答数	割合(%)
(はい)	744	43.3
いいえ	975	56.7

図表6(2)b-2 IFN希望理由(O-2-1)

C-2-1 はいの場合、その理由は何ですか。(单一/複数回答)

調査対象数744 (有効回答数710,無回答34)

有効回答率95.4%

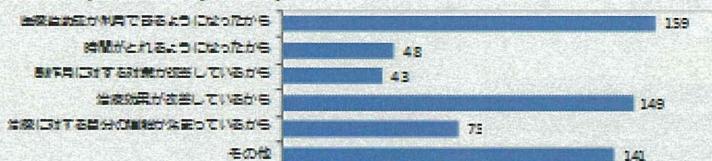
あてはまるものすべて(複数回答)



調査対象数710 (有効回答数706,無回答4)

有効回答率95.6%

もっともよくあてはまる(単一回答)

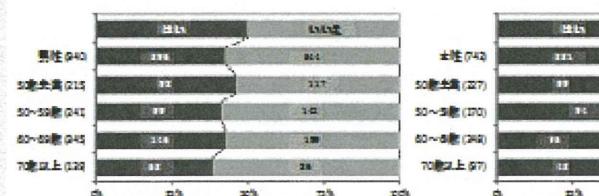


インターフェロン治療を受けることを勧められた場合の希望有無について尋ねたところ、有効回答者の43.3%は希望すると回答している(図表6(2)b-1)。性別による有意差は見られず。年齢別には、男性は有意差が見られなかつたが、女性で希望するのは50代が多かった(図表6(2)b-3)。病態別には、希望するのはキャリアが多く、慢性肝炎が少ない(図表6(2)b-4)。インターフェロン治療を受けることを勧められた場合に希望すると回答した方へ、希望する理由を尋ねたところ、複数回答は、有効回答者の42.0%が「医療費助成が利用できるようになったから」と回答している。次いで、「治療効果が改善しているから」が41.7%となっている。単一回答においても同様である。(図表6(2)b-2)。

男女別で見ると、「時間が取れるようになったから」は男性が多く、「副作用に対する対策が改善しているから」は女性が多い。年齢別には、女性は有意差が見られず。男性は、「時間が取れるようになった」が高齢ほど増加する(図表6(2)b-5)。就労/不就労では、「時間が取れるようになったから」、「副作用に対する対策が改善しているから」は、不就労の方が多かった(図表非掲載)。

C-2 インターフェロン治療を受けることを勧められた場合、ご希望になりますか。(單一回答)

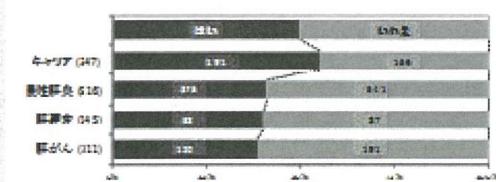
	1		2		どちらか内に有効日数を分母とする頻度		
	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	無効外発熱	無効	有効日数
TOTAL	727 (32.2)	193 (8.0)	2223 (91.8)	2223 (91.8)	54	1,692	
男性	308 (34.4)	144 (16.0)	561 (65.6)	561 (65.6)	20	215	
50歳未満	98 (32.4)	117 (44.4)	230 (67.6)	230 (67.6)	20	215	
50～59歳	99 (31.4)	142 (48.9)	287 (60.7)	287 (60.7)	46	241	
60～69歳	146 (32.2)	199 (47.7)	445 (60.1)	445 (60.1)	103	245	
70歳以上	53 (21.4)	88 (31.9)	218 (76.7)	218 (76.7)	71	129	
女性	381 (34.6)	411 (35.4)	1022 (65.4)	1022 (65.4)	28	742	
50歳未満	99 (25.4)	126 (32.4)	235 (74.6)	235 (74.6)	22	227	
50～59歳	94 (23.2)	70 (18.7)	412 (58.1)	412 (58.1)	45	174	
60～69歳	95 (20.2)	153 (36.7)	280 (63.3)	280 (63.3)	122	248	
70歳以上	43 (9.5)	54 (12.5)	171 (87.5)	171 (87.5)	14	57	

男性差前 ( $\chi^2=21.4$ , df=3, p<0.001), 女性差前 ( $\chi^2=11.5$ , df=3, p<0.001), 性別 ( $\chi^2=10.0$ , df=1, p=0.001)

図表6(2) b 4 IFN 希望(C-2)×病歴

C-2 インターフェロン治療を受けることを勧められた場合、ご希望になりますか。(單一回答)

	1		2		どちらか内に有効日数を分母とする頻度		
	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	無効外発熱	無効	有効日数
TOTAL	744 (32.2)	175 (7.0)	2,294 (67.8)	2,294 (67.8)	573	1,719	
カリニア	191 (25.0)	156 (45.0)	421 (55.0)	421 (55.0)	144	247	
慢性肝炎	375 (30.0)	541 (39.0)	1,156 (61.0)	1,156 (61.0)	240	916	
肝硬変	58 (30.0)	81 (30.0)	207 (60.0)	207 (60.0)	62	145	
肝がん	120 (30.0)	191 (31.4)	440 (68.6)	440 (68.6)	122	211	

 $\chi^2=20.7$ , df=3, p<0.001

図表6(2) b 5 IFN 希望理由(C-2 1a)×年齢・性別(I,II,2)

C-2-1a はいの場合、その理由は何ですか。(複数回答)

	どちらか内に有効日数を分母とする頻度							
	1	2	3	4	5	6	7	8
既往歴有り 時期にかかる時間と効果の持続時間と効果の持続時間と効果の持続時間と効果の持続時間と効果の持続時間と効果の持続時間と効果の持続時間と効果の持続時間								
TOTAL	145 (4.4)	30 (0.8)	80 (2.2)	152 (4.2)	44 (1.1)	88 (2.2)	88 (2.2)	140 (3.8)
男性	24 (4.0)	1 (0.2)	10 (1.7)	14 (2.3)	27 (4.5)	22 (3.7)	26 (4.5)	10 (1.7)
50歳未満	24 (4.0)	1 (0.2)	10 (1.7)	14 (2.3)	27 (4.5)	22 (3.7)	26 (4.5)	10 (1.7)
50～59歳	42 (4.0)	1 (0.2)	23 (2.0)	40 (3.6)	19 (1.7)	12 (1.0)	12 (1.0)	10 (0.9)
60～69歳	52 (3.9)	2 (1.5)	29 (2.1)	62 (4.5)	33 (2.4)	24 (1.7)	12 (0.9)	12 (0.9)
70歳以上	17 (3.5)	1 (0.2)	14 (2.9)	22 (4.7)	12 (2.6)	7 (1.5)	7 (1.5)	1 (0.2)
女性	143 (3.5)	1 (0.2)	13 (3.3)	128 (3.4)	41 (1.0)	81 (2.0)	49 (1.2)	20 (0.5)
50歳未満	42 (4.0)	1 (0.2)	21 (2.1)	42 (4.0)	19 (1.7)	22 (2.0)	22 (2.0)	1 (0.2)
50～59歳	48 (4.0)	1 (0.2)	27 (2.0)	41 (3.4)	20 (1.7)	15 (1.3)	15 (1.3)	1 (0.1)
60～69歳	20 (3.8)	1 (0.2)	14 (2.1)	40 (7.0)	10 (1.7)	13 (2.0)	13 (2.0)	1 (0.1)
70歳以上	17 (3.5)	1 (0.2)	13 (2.9)	18 (3.9)	7 (1.5)	8 (1.7)	8 (1.7)	1 (0.2)
その他	2 (2.3)	4 (4.0)	4 (4.0)	1 (1.2)	1 (1.2)	1 (1.2)	1 (1.2)	0 (0.1)
P	1	1	1	1	1	1	1	1
df	8	8	8	8	8	8	8	8
p	0.011	0.043	0.027	0.023	1.212	0.702		
	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.		
X <sup>2</sup>	2.1	12.8	2.7	4.9	1.1	12.4		
df	3	3	2	3	3	3		
p	0.158	0.004	0.293	0.077	1.774	0.000		
	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.		
Y <sup>2</sup>	1.5	1.2	4.2	0.9	0.5	2.0		
df	3	3	2	3	3	3		
p	0.181	0.752	0.241	0.025	1.916	0.419		
	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.		

## 7. 核酸アナログ製剤

### (1) 治療経験あり

#### a. 服薬開始時期

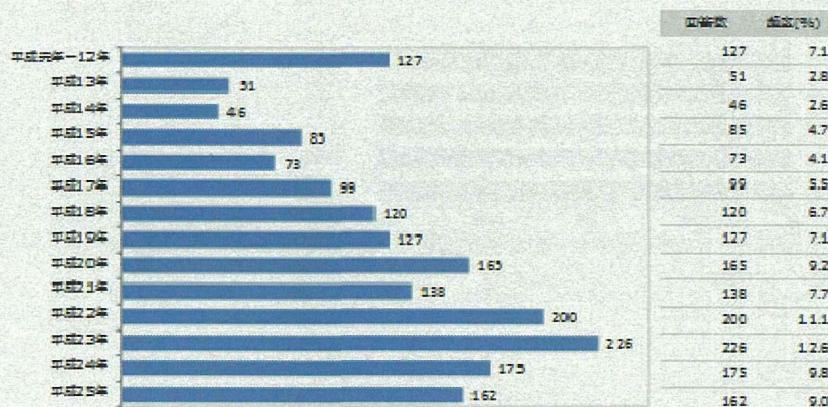
図表7(1)a-1 核酸開始時期(D-1)

D-1 内服の抗ウイルス剤の治療（服薬）はいつ開始されましたか。

(数値回答)

回答対象数1,924 (有効回答数1,794無回答130)

有効回答率93.2%

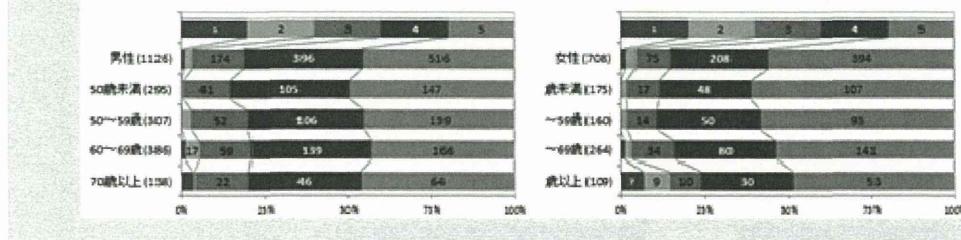


図表7(1)a-2 核酸開始時期(D-1)×年齢・性別(H-1,H-2)

D-1 内服の抗ウイルス剤の治療（服薬）はいつ開始されましたか。(単一回答)

	年					カコ内に複数回答を分母とする割合		
	1 平成1~5年	2 平成6~10年	3 平成11~15年	4 平成16~20年	5 平成21年以降	回答者数	回答率	有効回答率
TOTAL	21 (1.1)	50 (2.7)	242 (12.4)	604 (32.9)	210 (10.8)	1,924	1,105	1,024
男性	11 (1.0)	29 (2.8)	174 (12.5)	395 (25.2)	516 (32.3)	1,079	55.3	1,125
50歳未満	0 (0.0)	2 (0.7)	41 (12.0)	105 (26.8)	147 (35.2)	454	12.9	295
50~59歳	1 (0.2)	9 (2.5)	52 (14.9)	106 (24.8)	139 (32.2)	402	9.5	207
60~69歳	5 (1.2)	17 (4.4)	59 (15.2)	132 (31.0)	166 (36.0)	579	13.2	298
70歳以上	5 (1.2)	1 (0.7)	22 (12.2)	46 (21.2)	54 (24.4)	264	10.8	128
女性	10 (1.4)	21 (3.0)	73 (10.4)	208 (28.4)	394 (35.4)	1,280	55.2	709
50歳未満	0 (0.0)	3 (0.7)	17 (6.7)	45 (27.4)	107 (56.4)	274	19.9	175
50~59歳	0 (0.0)	3 (1.0)	14 (3.0)	50 (21.2)	93 (33.4)	280	10.0	160
60~69歳	3 (1.1)	6 (2.0)	34 (12.0)	80 (20.2)	141 (32.4)	420	16.9	284
70歳以上	7 (6.4)	9 (8.2)	10 (9.2)	30 (27.3)	53 (48.5)	198	9.7	109

要検定: 年齢(y<sup>2</sup>=203.8, df=12, p=0.000); 性別差(y<sup>2</sup>=41.8, df=12, p=0.000); 性別×年齢(y<sup>2</sup>=201.4, df=4, p=0.000)

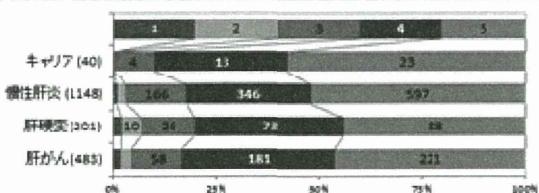


核酸アノログ製剤の治療開始時期について尋ねたところ、有効回答者の 12.6%が平成 23 年と回答しており、平成 21 年以降が全体の 50.2%を占めている(図表7(1)a-1)。性別で見ると、平成 11~20 年は男性が多く、平成 21 年以降は女性が多い。年齢別には、男女ともに高齢者ほど開始年が早い(図表7(1)a-2)。病態別では、平成 16~20 年は肝がんが多く、平成 21 年以降は慢性肝炎が多い傾向にあった(図表7(1)a-3)。

図表7(1)u-0 検査開始時期(D-1)×病状

D-1 内服の抗ウイルス剤の治療(服薬)はいつ開始されましたか。(単一回答)

	1 平成1~平年	2 平成2~10年	3 平成11~15年	4 平成16~20年	5 平成21年以降	該当内3回以上回数を分母とする割合		
	平成1~平年	平成2~10年	平成11~15年	平成16~20年	平成21年以降	調査対象数	無回答	有効回答
TOTAL	23 (1.2)	53 (2.6)	254 (13.6)	513 (27.0)	129 (42.8)	4,021	114	3,872
牛カリア	0 (0.0)	0 (0.0)	4 (10.0)	13 (21.3)	23 (37.5)	527	48	40
慢性肝炎	10 (0.0)	29 (1.5)	168 (14.5)	346 (30.0)	597 (51.0)	1,824	478	1,148
肝硬変	4 (0.0)	10 (5.0)	26 (12.0)	78 (36.0)	88 (45.0)	275	74	201
肝がん	9 (0.0)	14 (1.0)	58 (12.0)	181 (37.0)	221 (45.0)	595	111	482

 $\chi^2=22.1, df=4, p<0.0001$ 

## b. 薬剤変更

図表7(1)u-1 検査変更(D-2)

D-2 治療中、お薬の変更はありましたか。服薬中止の場合も変更とみなします。(単一回答)

回答対象数1972 (有効回答1928無効答44)

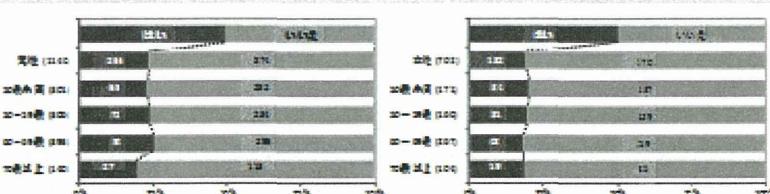
有効回答率97.8%

	回答数		回答数(%)
	いいえ	はい	
いいえ	1481	497	76.8
はい	447	447	23.2

図表7(1)u-2 第剤変更(D-2)×年齢・性別(H-1,H-2)

D-2 治療中、お薬の変更はありましたか。服薬中止の場合も変更とみなします。(単一回答)

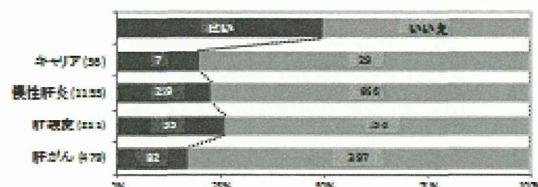
	1 12歳未満	2 13歳以上	該当内3回以上回数を分母とする割合		
	平成1~平年	平成2~10年	平成11~15年	平成16~20年	平成21年以降
TOTAL	398 (21.6)	1444 (78.4)	1,382	40	1,342
男性	200 (23.3)	874 (76.7)	1,187	27	1,142
50歳未満	89 (22.0)	232 (77.0)	306	5	301
50~59歳	77 (23.0)	234 (76.0)	307	1	304
60~69歳	98 (24.0)	295 (75.0)	407	14	393
70歳以上	27 (10.0)	113 (80.0)	147	7	140
女性	132 (18.8)	570 (81.2)	715	12	702
50歳未満	34 (15.0)	137 (85.0)	172	1	171
50~59歳	31 (19.4)	129 (80.6)	162	2	160
60~69歳	48 (18.0)	219 (82.0)	272	5	267
70歳以上	19 (6.3)	85 (83.7)	109	5	104

男性平数:  $\chi^2=1.0, df=1, p=0.397$  女性平数:  $\chi^2=0.0, df=1, p=0.930$  性別:  $\chi^2=5.4, df=1, p=0.022$ 

図表7(1)b-3 検査変更(D-2)×病態

D-2 治療中、お薬の変更はありましたか、服薬中止の場合も変更とみなします。(单一回答)

	1 はい		2 いいえ		どちらに内ど有効回答数を分母とする割合		
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	
TOTAL	403	(24.4)	1,478	(75.5)	1,821	43	1,864
キアリア	7	(16.4)	29	(80.5)	40	4	36
慢性肝炎	239	(22.4)	896	(77.5)	1,129	14	1,155
肝硬変	55	(26.1)	156	(73.2)	211	8	211
肝がん	62	(17.4)	397	(82.2)	459	17	479

 $\chi^2=2.7$ , df=3, p=0.028

治療中の薬剤の変更有無について尋ねたところ、有効回答者の 23.2%は変更があったと回答している(図表 7(1)b-1)。男女別には、変更があったのは男性の方が多い。年齢別には有意差が見られなかった(図表 7(1)b-2)。病態別に見ると、肝がんは変更があつた人が少ない傾向にあつた(図表 7(1)b-3)。

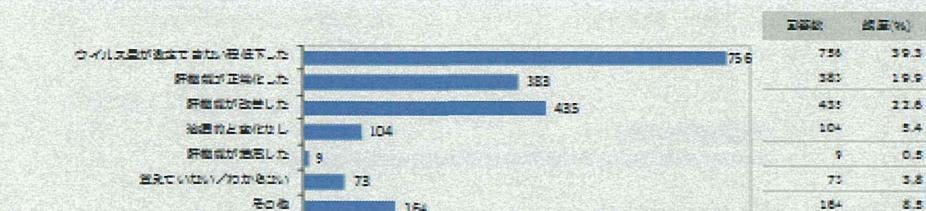
### c. 治療効果

図表7(1)c-1 検査効果(D-3)

D-3 治療に対する効果について、現在、どのようにあると説明を受けていますか。(单一回答)

回答者数1,914 (有効回答数1,934, 有効率100.0%)

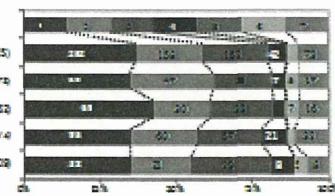
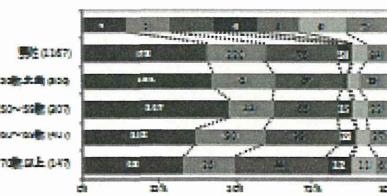
複数回答可



図表7(1)c-2 検査効果(D-3)×年齢・性別(H-1,H-2)

D-3 治療に対する効果について、現在、どのようにあると説明を受けていますか。(单一回答)

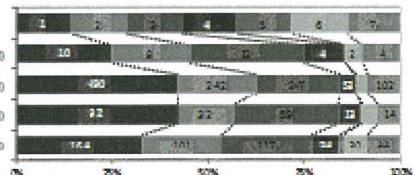
	H-1 年齢							H-2 性別								
	1 未満	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	6 歳	7 歳	8 歳以上	男 性	女 性	男 性	女 性	男 性	女 性	男 性	女 性
TOTAL	742	207	207	207	207	207	207	207	472	472	1,127	1,127	1,127	1,127	1,127	1,127
男性	472	472	121	121	97	97	97	97	121	121	383	383	383	383	383	383
20歳未満	121	47.5	47.5	47.5	47.5	47.5	47.5	47.5	47.5	47.5	38.3	38.3	38.3	38.3	38.3	38.3
20~39歳	121	47.5	47.5	47.5	47.5	47.5	47.5	47.5	47.5	47.5	38.3	38.3	38.3	38.3	38.3	38.3
40~59歳	121	47.5	47.5	47.5	47.5	47.5	47.5	47.5	47.5	47.5	38.3	38.3	38.3	38.3	38.3	38.3
60歳以上	121	47.5	47.5	47.5	47.5	47.5	47.5	47.5	47.5	47.5	38.3	38.3	38.3	38.3	38.3	38.3
女性	472	472	472	472	472	472	472	472	472	472	730	730	730	730	730	730
20歳未満	472	47.5	47.5	47.5	47.5	47.5	47.5	47.5	47.5	47.5	38.3	38.3	38.3	38.3	38.3	38.3
20~39歳	472	47.5	47.5	47.5	47.5	47.5	47.5	47.5	47.5	47.5	38.3	38.3	38.3	38.3	38.3	38.3
40~59歳	472	47.5	47.5	47.5	47.5	47.5	47.5	47.5	47.5	47.5	38.3	38.3	38.3	38.3	38.3	38.3
60歳以上	472	47.5	47.5	47.5	47.5	47.5	47.5	47.5	47.5	47.5	38.3	38.3	38.3	38.3	38.3	38.3



図表 7(1)c-3 核酸効果(D-3)×病態

D-3 病態に対する効果について、現在、どのようにすると説明を元にしていますか。(第一回答)

	1	2	3	4	5	6	7	その他	無回答	回答率
	ウイルス量が測定できなかった	肝機能が正常化した	肝機能が改善した	肝機能が悪化した	肝機能が増悪した	他の効果	その他	無回答	回答率	
TOTAL	758 (32.5)	262 (10.5)	132 (5.6)	104 (4.4)	2 (0.1)	72 (3.0)	164 (6.9)	132 (5.6)	1,824 (76.1)	
年齢	10 (0.4)	0 (0.0)	17 (0.7)	4 (0.2)	0 (0.0)	9 (0.4)	4 (0.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	
性別	490 (20.8)	242 (10.2)	247 (10.0)	43 (1.8)	2 (0.1)	23 (0.9)	102 (4.3)	1,008 (43.0)	0 (0.0)	
既往歴	22 (0.9)	22 (0.9)	59 (2.5)	12 (0.5)	1 (0.1)	8 (0.3)	14 (0.6)	23 (1.0)	0 (0.0)	
既往疾患	188 (7.6)	101 (4.3)	117 (4.8)	24 (1.0)	4 (0.2)	20 (0.8)	61 (2.6)	—	—	



核酸アナログ製剤治療の現状の効果について尋ねたところ、有効回答者の 39.3%が「ウイルス量が測定できない程度低下した」と回答している。次いで「肝機能が改善した」が 22.6%となっている(図表 7(1)c-1)。性別による有意差は見られず。年齢別には、男性の場合、「ウイルス量が測定できないほど低下した」が 50 代に多く、「肝機能が正常化した」が 60 代に多い。女性は年齢による有意差は見られなかった(図表 7(1)c-2)。病態別には、「ウイルス量が測定できないほど低下した」は慢性肝炎に多く、「肝機能が増悪した」は肝がんに多い(図表 7(1)c-3)。

#### d. 忘薬

図表 7(1)d-1 忘薬忘葉(D-12)

D-12 内服の抗ウイルス剤の飲み忘れは、最近3か月で、  
2回以上ありましたか。(第一回答)

調査対象数1924 (有効回答数1366,無効55)

有効回答率97.1%

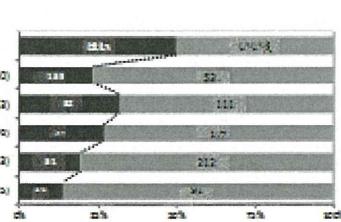
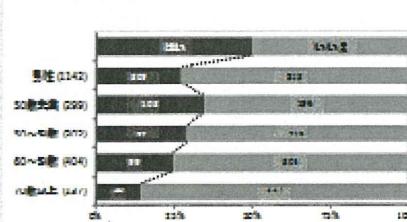


図表 7(1)d-2 忘薬忘葉(D-12) × 年齢・性別(II-1,II-2)

D-12 内服の抗ウイルス剤の飲み忘れは、最近3か月で、2回以上ありましたか。(第一回答)

	1		2			過去3ヶ月における日数を分母とする頻度
	はい	いいえ	はい	いいえ	無回答	
TOTAL	455 (22.5)	1,464 (77.5)	1,024 (74.1)	350 (25.9)	30 (2.2)	1,822
男性	309 (17.4)	833 (72.2)	713 (55.2)	580 (44.8)	25 (2.2)	1,142
50歳未満	103 (9.4)	119 (88.6)	80 (72.1)	20 (17.9)	—	209
50～59歳	87 (8.0)	215 (91.0)	167 (73.2)	53 (26.8)	—	202
60～69歳	99 (9.0)	205 (90.0)	147 (72.7)	40 (27.3)	—	204
70歳以上	20 (1.8)	117 (88.2)	147 (72.7)	50 (27.3)	—	127
女性	150 (22.0)	561 (77.2)	311 (71.5)	125 (28.5)	25 (5.6)	600
50歳未満	52 (31.3)	111 (68.7)	72 (65.4)	37 (34.6)	—	163
50～59歳	42 (26.4)	117 (73.6)	82 (71.2)	35 (28.8)	—	159
60～69歳	51 (19.4)	212 (80.6)	147 (67.0)	65 (32.0)	—	203
70歳以上	14 (2.2)	51 (97.8)	102 (70.0)	44 (29.0)	—	105

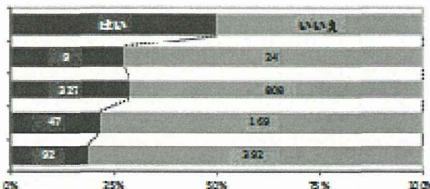
調査対象数 (n=1924, 有効回答数1366,無効55) 有効回答率97.1%



図表7(1)d-3 検疫忌薬(D-12)×病態

D-12 内服の抗ウイルス剤の飲み忘れは、最近3ヶ月で、2回以上ありましたか。(単一回答)

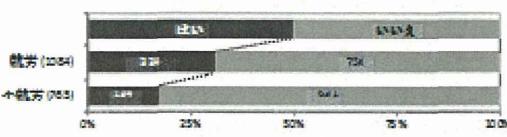
	1 (はい)		2 (いいえ)		どちらか内に有効回答数を分母とする頻度		
	回答数	割合	回答数	割合	有効回答数	無回答	有効回答
TOTAL	475	(25.4)	1393	(74.6)	1,868	56	1,812
キャリア	9	(7.3)	24	(72.7)	40	7	33
慢性肝炎	327	(28.8)	808	(71.2)	1,135	34	1,101
肝硬変	47	(31.8)	109	(68.2)	156	3	153
肝がん	92	(19.0)	392	(81.0)	484	12	472

 $\chi^2=0.0, df=3, p=0.000$ 

図表7(1)d-4 検疫忌薬(D-12)×就労(H-4)

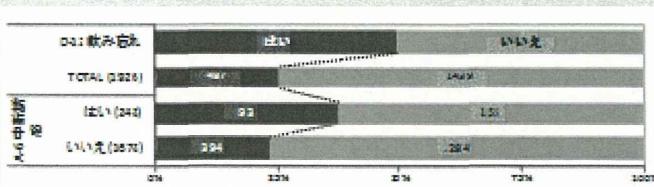
D-12 内服の抗ウイルス剤の飲み忘れは、最近3ヶ月で、2回以上ありましたか。(単一回答)

	1 (はい)		2 (いいえ)		どちらか内に有効回答数を分母とする頻度		
	回答数	割合	回答数	割合	有効回答数	無回答	有効回答
TOTAL	459	(25.3)	1381	(74.7)	1,840	50	1,790
就労	334	(30.5)	750	(69.5)	1,084	32	1,052
不就労	124	(17.5)	661	(82.5)	785	18	767

 $\chi^2=11.2, df=1, p<0.000$ 

図表7(1)d-5 検疫忌薬(D-12)×中断誘惑(A-6)

A-6 現在受けている治療を、中断したいと思うことはありますか。	D-12 内服の抗ウイルス剤の飲み忘れは、最近3ヶ月で、2回以上ありましたか。				どちらか内に有効回答数を分母とする頻度		
	はい		いいえ		有効回答数		無回答
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	有効回答
はい	93	(30.0)	155	(60.0)	248	67	240
いいえ	234	(38.0)	1284	(62.0)	1522	144	1,378

 $\chi^2=2.23, df=1, p=0.000$ 

核酸アナログ製剤治療中の飲み忘れについて尋ねたところ、有効回答者の 25.4%が最近3ヶ月のうち、2回以上飲み忘れたことがあると回答している(図表 7(1)d-1)。性別による有意差は見られず。年齢別には、最近3ヶ月のうち2回以上飲み忘れたことがあるのは、男女ともに若年ほど多い傾向が見られる(図表 7(1)d-2)。病態別には慢性肝炎が多く、肝がんが少ない(図表 7(1)d-3)。就労／不就労では、就労が多い(図表 7(1)d-4)。中断誘惑で見ると、現在の治療を中断したい人ほど飲み忘れが多い(図表 7(1)d-5)。

## e. 耐性ウイルス（知識/告知）

図表7(1)e-1 耐性認知(D-14)

D-14 耐性ウイルス（お薬が効かないウイルス）について聞いたことがありますか。（単一回答）

調査対象数1,974 (有効回答数1,851,無回答数123)  
有効回答率95.2%

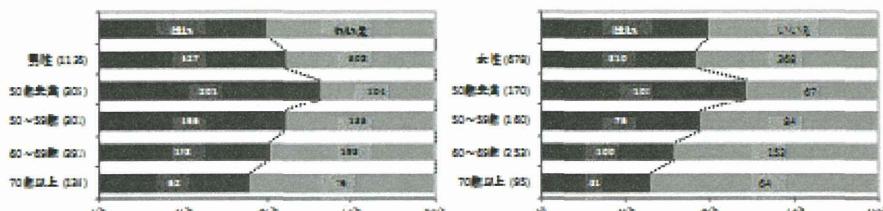


図表7(1)e-2 耐性認知(D-14)×年齢・性別(H-1,H-2)

D-14 耐性ウイルス（お薬が効かないウイルス）について聞いたことがありますか。（単一回答）

	1 (2)		2 (いいえ)		エホーハ内に有効回答を分母とする頻度		
	TOTAL	937 (31.7)	876 (48.8)	調査対象数	無回答	有効回答	
<b>男性</b>	627 (33.2)	508 (44.8)	1,167	22	1,145		
50歳未満	201 (32.0)	104 (34.1)	305	1	305		
50～59歳	165 (33.4)	135 (44.9)	307	6	301		
60～69歳	198 (30.6)	193 (49.4)	407	15	391		
70歳以上	62 (44.9)	76 (35.1)	147	9	138		
<b>女性</b>	310 (46.7)	368 (54.3)	715	37	678		
50歳未満	103 (30.6)	67 (39.4)	172	2	170		
50～59歳	76 (47.5)	84 (52.5)	162	2	160		
60～69歳	100 (39.5)	133 (60.5)	232	12	220		
70歳以上	31 (32.6)	64 (67.4)	103	14	95		

男性午後 ( $\chi^2=22.2$ , df=3, p<0.0001) 女性午後 ( $\chi^2=24.2$ , df=3, p<0.0001) 性別 ( $\chi^2=6.4$ , df=1, p=0.041)



図表7(1)e-3 耐性告知(D-15)

D-15 あなたに耐性ウイルスがあると、医師から説明されたことがありますか。（単一回答）

調査対象数1,477 (有効回答数1,392,無回答数85)  
有効回答率93.4%



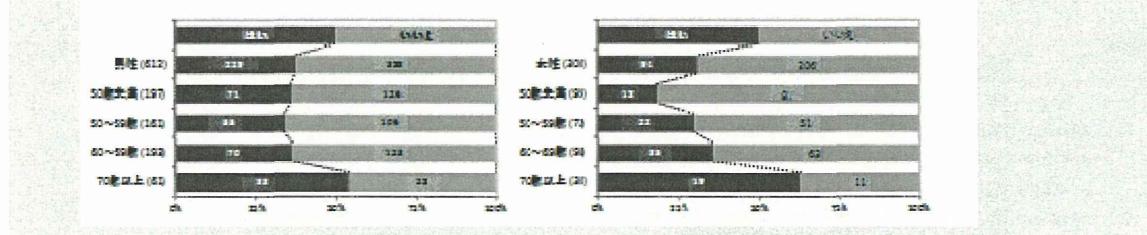
表7(1)e-4 耐性告知(D-15)×年齢・性別(H-1,H-2)

D-15 あなたに耐性ウイルスがあると、医師から説明されたことがありますか。（単一回答）

	1 (2)		2 (いいえ)		エホーハ内に有効回答を分母とする頻度		
	TOTAL	323 (37.4)	569 (62.6)	調査対象数	無回答	有効回答	
<b>男性</b>	229 (37.4)	363 (62.6)	622	15	612		
50歳未満	71 (36.0)	126 (64.0)	201	4	197		
50～59歳	55 (34.2)	106 (65.8)	166	5	161		
60～69歳	70 (36.3)	123 (63.7)	138	5	133		
70歳以上	33 (34.1)	28 (65.9)	62	1	61		
<b>女性</b>	94 (31.3)	205 (68.7)	310	10	300		
50歳未満	18 (18.2)	81 (81.8)	103	4	99		
50～59歳	22 (30.1)	51 (69.9)	73	2	71		
60～69歳	35 (35.7)	63 (64.3)	100	2	98		
70歳以上	19 (32.0)	11 (67.9)	21	1	20		

男性午後 ( $\chi^2=28.2$ , df=3, p=0.041) 女性午後 ( $\chi^2=24.2$ , df=3, p<0.0001) 性別 ( $\chi^2=3.2$ , df=1, p=0.071)

図7(1)e-4 耐性告知(D-15)×年齢・性別(H-1,H-2)



耐性ウイルスについて聞いたことがあるか尋ねたところ、有効回答者の51.2%は聞いたことがあると回答している(図表7(1)e-1)。男女別には、聞いたことがあるのは男性が多い。年齢別には、男女ともに若年ほど多い傾向が見られる(図表7(1)e-2)。

耐性ウイルスについて聞いたことがあると回答した方へ、耐性ウイルスについて医師から説明を受けたことがあるか尋ねたところ、有効回答者の35.4%が医師から説明を受けたことがあると回答している(図表7(1)e-3)。性別による有意差はない。年齢別には、耐性ウイルスの説明を受けたことがあるのは男女ともに高齢者ほど多い傾向が見られる(図表7(1)e-4)。

#### f. 治療満足度

図表7(1)f-1 核酸効果満足 (D-4)



表7(1)f-2 核酸効果満足 (D-4)×年齢・性別(H-1,H-2)

D-4 内服の抗ウイルス剤の治療効果に、どの程度満足していますか。(単一回答)

	1 非常に満足して いる	2 満足して いる	3 満足せず不満で ない	4 満足して いない	5 非常に不満で いる	各コロナ有効回答数を分母とする構成		
						回答数	回答(%)	回答数
TOTAL	431 (22.2)	949 (51.2)	402 (21.7)	61 (3.2)	10 (0.5)	1,912	23	1,932
男性	277 (24.0)	585 (50.8)	144 (12.4)	40 (3.5)	6 (0.5)	1,167	15	1,182
50歳未満	80 (26.2)	143 (47.9)	65 (21.2)	15 (5.0)	2 (0.7)	216	1	205
50~59歳	63 (20.7)	155 (50.8)	74 (24.2)	12 (4.2)	1 (0.3)	207	2	205
60~69歳	95 (21.2)	220 (35.2)	70 (14.0)	10 (2.2)	3 (0.6)	417	9	399
70歳以上	30 (51.0)	47 (41.4)	25 (42.9)	3 (5.4)	0 (0.0)	147	3	144
女性	154 (22.0)	384 (51.3)	158 (21.5)	21 (3.0)	4 (0.6)	735	14	751
50歳未満	42 (27.7)	81 (51.0)	40 (25.0)	6 (3.8)	1 (0.6)	172	2	170
50~59歳	29 (14.0)	85 (43.8)	39 (21.4)	5 (2.7)	1 (0.6)	182	2	180
60~69歳	59 (21.2)	140 (51.2)	57 (21.5)	8 (2.9)	1 (0.4)	272	7	265
70歳以上	24 (21.6)	57 (51.8)	22 (20.0)	2 (1.9)	1 (0.9)	169	3	166

男性年齢 ( $\chi^2=1.55$ , df=12, p=0.4217), 女性年齢 ( $\chi^2=4.1$ , df=12, p=0.2811), 性別 ( $\chi^2=21.2$ , df=4, p<0.0001)